

イージス艦「あたご」衝突事故、防衛省ぐるみの嘘を許すな

石破大臣の罷免を要求する

2月19日午前4時7分に、海上自衛隊の最新鋭のイージス艦「あたご」が千葉県房総沖で漁船・清徳丸と衝突。真つ二つに分断され沈没した乗組員の吉清治男さん(58歳)、哲大さん(23歳)は、必死の捜索にもかかわらずにまだに行方不明のまま。

この重大事故については、防衛省・海上自衛隊幹部による隠蔽工作、口裏合わせが行われた可能性が日に日に濃くなってきている。事故直後、千葉県館山市にある自衛隊のヘリポート等から3機のヘリが飛び立った。仮眠中だった艦長にかわって責任者だった航海長は市ヶ谷の防衛省に向かい、4時間半も滞在している。途中、大臣室で自衛隊幹部とともに事情を聞かれている。もう二機のヘリは、「あたご」の乗組員を自衛隊横須賀病院に運んだ。「小指の打撲・骨折の治療のため」(防衛省)というが不自然さはめぐえない。さらに、もう一機のヘリは横須賀の護衛艦隊司令部幕僚長を乗せて、「あたご」に向った。午前8時半から9時間も滞在して、「艦長を補佐した」(防衛省)という。

石破大臣は、この事実を伏せたまま記者会見、国会答弁を繰り返して

り返していた。「今後、自衛隊による隠蔽などが

見つかったら大臣の辞任も含めて責任を取るか」

と辻元清美議員に問われて、「その意識はある」

(2月22日衆議院安保委員会・石破大臣)として

いたが、海難事故の捜査にあたる海上保安庁の事情聴取を待たずに長時間にわたって大臣室で自ら

「密室の相談」に乗り出したとしたら、事実をね

じ曲げた海上自衛隊の発表に事実上加担したこと

になる。即刻責任を取る以外にない。福田総理大

臣は、ただちに罷免すべきだ。社民党は、真相解

明と再発防止のために徹底的に追及する。



↑問題艦が並んだ海自吉倉棧橋。手前が「あたご」、奥が「しらね」(写真はリムピース提供)



↑新勝浦市漁協で外記組合長(中央)から話を聞く社民党国会議員団

社民党